

第1部門 私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの取り組みで変わった施設ケア(初級編)
 関西学院大学 G号館3階 301教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ 発表の概要		
12:00～12:25	1-1	特養(従来型)	ゆうとぴあ	熊本県
		動き出しは当事者から実践発表 「動き出しは当事者から」に取り組み、入居者O様への接し方を見直していく中で知ることが出来たO様の本当の動きや職員の意識の変化を発表したいと思います。		
12:25～12:50	1-2	特養(新型)	愛厚ホーム西尾苑	愛知県
		あなたの夢を叶えましょう！ 施設で生活するようになってあきらめてしまった夢や希望はないだろうかと思い、密かに思っている夢や希望を聞き出し、叶える事で、日々の生活の充実を目指した。		
12:50～13:15	1-3	養護老人ホーム	慶和園	北海道
		ご利用者の想いを実現させるために ご利用者の想いを汲み取り、ご家族と職員がチームとなって「共にチャレンジ」した”大好きな煮魚”作りや以前町内にあった赤ちょうちん「やまちゃん」の女将さんによる焼き鳥作りの挑戦と実践を通して得た職員の仕事の「やりがい」について。		
13:15～13:40	1-4	特養(従来型)	洛和ヴィラ桃山	京都府
		自分らしく生きたい ～102歳の想い 102歳のA氏は、2017年8月に施設に入所される。私たちは多職種と相談し、安全安楽を第一としたケアを提供したが、それはA氏の発言により望むケアではなかったことに気づいた。その後のケアの変化について報告する。		
13:40～14:05	1-5	グループホーム	せいわながすの里	熊本県
		動き出しは当事者から ～N氏の歩行動作を通して学んだ事～ 本人の動き出しに気づき、タイミングを合わせるとわずかな介助でも本人の力で動けるという事を大堀先生の研修を通して学ばせて頂いた。その後取り組む中でスタッフと利用者様との関係性にも変化が見られたため報告したい。		
14:05～14:20	休 憩			
14:20～14:45	1-6	特養(従来型)	かおる園	北海道
		専門職として私たちが出来ること 新規入所された利用者様、入院されてしまった利用者様、その方々1人ひとりにより良い生活をしていただくためのケアや退所ではなく施設に戻れるよう、介護員と言う専門職が作った事等を複数の事例で発表いたします。		
14:45～15:10	1-7	特養(従来型)	新和苑	熊本県
		今できることに視点を変えて 「動き出しは当事者から」を通して、出来ないだろうという観点から、今出来ることは何なのか。そこに目を向けて共有することで、出来ることを維持しながらその人らしい日常生活につなげるための取り組み。		
15:10～15:35	1-8	地域密着型特養	花いずみ	岩手県
		～動き出しは当事者から～ 大堀先生の研修で学んだことを実践。そこからお年寄りへの携わりで気づかされたことを発表します。		
15:35～16:00	1-9	特養(新型)	ありすの杜きのこ南麻布	東京都
		できることを引き出すことの大切さ 東京で開催された「動き出しは当事者から」の連続講座に参加しました。現場での実践を通して学んだことを発表します。		
16:00～16:25	1-10	特養(従来型)	かおる園	北海道
		穏やかに生活する為に 当施設に入所されてから自室で寝ている事が多く、1日平均2時間程度しか起きていない。他の利用者様と共に過ごされていても常にトイレへ通われている状態のため、その方がその方らしい生活を送っていただける様、日々のケアの見直しや薬の調整を作った内容をパワーポイントにて発表いたします。		
16:25～16:40	休 憩			
16:40～17:05	1-11	デイサービス	総合福祉施設ゆうとぴあ	熊本県
		デイサービスにおける利用者本位の関わり・食事場面における実践報告 ADL全介助の申し送りやデイサービスを利用開始された利用者様に対し、私達職員主体ではなく、「動き出しは当事者から」を合言葉に、利用者主体の関わりを心がける事でおきた、利用者や職員の変化について報告する。		
17:05～17:30	1-12	地域密着型特養	ビハーラまどか	熊本県
		動き出しは当事者から～4年目の正直～ 動き出しを学んで4年、ケアの楽しさ、不安、驚きをお年寄りにお返す。現状からこれからの組織作りへ……。		

第2部門 一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫(基礎編)

関西学院大学 G号館2階 IS206教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ 発表の概要		
14:20～14:45	2-1	特養(新型)	ぬく森・第二	愛知県
		A様の快適な排泄ケアに向けた取り組み A様は認知症で両目も見えにくい為、トイレの場所が分からず、ユニットのいたる場所で排泄してしまう。トイレ以外で排泄して申し訳ないとの気持ちもあるA様が、気持ちよく排泄できるような支援に関する実践報告。		
14:45～15:10	2-2	老健	きのこ老人保健施設	岡山県
		待ってあげようよ ～動き出しは当事者から(初級編)を受けて～ 日々忙しい介護の中で、人手不足に悩み、効率ばかり考え動いていた自分にKさんが教えてくれた事を発表します。頭ではわかっている、自分本位な介護になっていたことを痛感しました。		
15:10～15:35	2-3	特養(従来型)	博愛の園	大阪府
		自己決定と記録～自分のお風呂は自分で決める～ 職員が管理している環境の中で生活しているお年寄りに対して”お風呂”というシーンにスポットライトをあてた。お年寄りが自分で「入る」「入らない」という選択ができるように取り組んだ。週に2回という枠組みにとらわれず、お年寄りが自ら決める環境を提供。その取り組みから気づいた記録の重要性と今後の課題を発表。		
15:35～16:00	2-4	老健	洛和ヴィラ イリオス	京都府
		在宅復帰に向けて ～できる事を最大限に活かす～ 頸椎損傷により、バルン挿入し抜去直後に入所される。夜間オムツ、日中も失禁がみられたがADL向上に合わせたアプローチにより失禁が減少し夜間ポータブルトイレ自立となる。在宅復帰に向けての排泄支援について報告する。		
16:00～16:25	2-5	特養(従来型)	丹後園	京都府
		排泄ケアを見直して、どのような変化があったか ケアアドバイザーによる指導やオムツフッターによる勉強会を通じて、排泄ケアの見直しを行った。これまで皮膚トラブルに関しては、看護師が主体的にやっていたが、ケアワーカー自身が知識や意識・技術の向上を図ることで、チームとしてのケア向上に繋がり、ご利用者の満足も得られることとなった。		
16:25～16:40	休 憩			
16:40～17:05	2-6	地域密着型特養	せとうちの郷	岡山県
		I♡(ラブ)NY(入浴)～私たちが入りたいと思えるお風呂へ～ 施設生活の中でも、利用者様にリラックスしてほしいと考え入浴についてのニーズを把握し、フロア全員で実践研究に取り組みました。		
17:05～17:30	2-7	特養(新型)	かすみの里	三重県
		その人らしい食事とは？そこから生まれた暮らしの変化 体力がないから起きて来られないと決めていたのは私たちでした。しかし、介護の基本に立ち戻った時、Sさんの思いや、どうしたいかを聞き毎食起きて来られるようになった現在までの過程を発表します。		

第3部門 “食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし

関西学院大学 G号館2階 IS206教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県	
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	3-1	地域密着型特養	五色サルビアホール	兵庫県	
		わたしの食べたい作りたいもの 施設での食事は味付けが好みではなく、鉱物であっても食べていない。本人は料理の知識が豊富であり、昔自宅で作っていた料理を職員と一緒に再現することで、意欲の向上図り、その中から見えてきた視点について発表する。			
12:25～12:50	3-2	特養(従来型)	さわらび	長野県	
		誤嚥・窒息リスクの高いご利用者様への個別ケア 食事を全てのご利用者様へ、より美味しく安全に召し上がっていただけるよう、特に誤嚥や窒息のリスクの高いご利用者様に対して個別にどのように介護者が関わっていくかという取り組みを行った。			
12:50～13:15	3-3	病院	三豊市立西香川病院	香川県	
		皆で繋ぐ“愛のスープ” 当院の療養病棟では固形物の摂取が難しい患者様がいる。そういった方たちに辰巳芳子さんからヒントを得た「愛のスープ」の提供を行い、経口から食べる事の楽しみを感じていただくために取り組んだことを報告する。			
13:15～13:40	3-4	地域密着型特養	博愛の園 サテライト特養 清心館	大阪府	
		毎日、三食をユニットで調理する 清心館ではお年寄り職員が「毎日献立を考え」「食材を買いに行き」「調理をする」ことでそこに初めて「日常」＝「普通の暮らし」が生まれると考え、各ユニットで3食調理することにしました。調理してきたことで苦労した事、工夫していることについて発表します。			

第3部門 “食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし

関西学院大学 G号館2階 IS208教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県	
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	3-5	特養(従来型)	山科苑	京都府	
		一人一人の嚥下状態に合わせたトロミスケールの作成と実践について 嚥下機能が低下したご利用者様に対して、お茶や汁物のトロミ具合が職員間でバラつきがあり、また乳製品とお茶のトロミ粉による硬さの違いを統一化するために苑独自のトロミスケールを作成。スケールを実践する取り組みと結果を発表する。			
12:25～12:50	3-6	病院	三豊市立西香川病院	香川県	
		患者様の幸せを考えて～食べる事は、生きる意欲～ 重度認知症のA氏。食事摂取量が数口程度であったが音楽をきっかけに食事摂取量も少し増えた。家族の思いや元気だった頃のA氏を知ることで、必要なケアとは何かを考え行った事や今回のことで学んだことを報告する。			
12:50～13:15	3-7	地域密着型特養	和里(にこり)香芝	奈良県	
		酢ドリンクで健康効果を調査する血圧と血糖値の上昇緩和を調査 糖尿病で血糖値と血圧が高値の生活者を対象に酢ドリンクを提供した取り組みについての発表。			
13:15～13:40	3-8	特養(従来型)	なごみ	大阪府	
		旨いメシを食べよう～！業務委託の食事を辞め、ユニット調理へ！ 「味がワンパターン!美味しくなく・・・」という入居者さんの声から始まったユニット調理。試行錯誤した準備段階から4月より毎日調理する中で見えてきた入居者さん、職員の変化についてお伝えいたします。			

第4部門 これまでの暮らしの継続をたいせつにした生活環境づくり

関西学院大学 G号館1階 IS106教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ 発表の概要		
14:20～14:45	4-1	特養(新型)	愛厚ホーム西尾苑	愛知県
		居心地のいい場所 24時間365日おなじ場所で、おなじ人と生活している入居者に、少しでも安心して、「この場所にいたい」と思ってもらえるように、と考へて行った取り組み。清潔で気持ちの良い環境作りや苦痛のないように座位姿勢の見直し、内出血の予防、良好な人間関係の構築のための取り組み。		
14:45～15:10	4-2	老健	洛和ヴィラアエル	京都府
		住宅復帰を支えるために私たちが取り組んだケアについて 家族は住宅復帰を強く望んでおり、本人も家に帰りたいという思いがある。在宅復帰の実現に向けて他職種と共同し利用者のADL、QOLの向上を目指したケアを実践したのでその成果について報告する。		
15:10～15:35	4-3	特養(新型)	みどりの郷	福島県
		通い慣れたあの場所へ くも膜下出血で倒れ、体が今までのように動かなくなってしまったA様。体の自由が効かなくなり、思うように外出できずにいたなか、話をするうちに行きたい場所があると教えてくださる。外出することで良い気分転換になり、楽しみをもった生活ができるような援助について発表します。		
15:35～16:00	4-4	デイサービス	デイサービスセンターはるかぜ	富山県
		「出来ることは自分で・・・」に向けた環境改善 「毎日、当たり前のように行っていた日課＝役割」や「諦めかけていた趣味＝楽しみ事」、「忘れていた仕事の充実感」を思い出しながら充実して頂けるように様々な提案を行い利用者様と一緒に意見交換しながら環境改善に取り組んでいます。		
16:00～16:25	4-5	特養(新型)	松風	長野県
		自分でえらぶって大事!! ～見つけた私の好きな場所～ ユニットリーダー研修に参加して環境整備の大切さを学びました。ユニット内を2つに分割したことにより、生活されている利用者様の選ぶ幅が広がり、利用者様の思いを聞けるようになった。取り組みの中で利用者様・ご家族に変化が・・・。		
16:25～14:40	休 憩			
16:40～17:05	4-6	特養(新型)	洛和ヴィラ文京春日	東京都
		季節を感じられる生活環境づくりに向けた取り組み 利用者さまの思いやこれまでの生活に寄り添った季節を感じられる生活環境を整えていくために、他ユニットの職員とで相互評価する仕組みを導入した。その結果について検証し、今後のあり方について考察する。		
17:05～17:30	4-7	特養(新型)	せとうち	岡山県
		なじみの関係づくり～人と人とのつながり～ 居室変更で「話をする人がいない」と不穏な状態であったM様。この事例を通して同郷の人々との出会いや地域に向くことでなじみの関係をつくることができ、対象の方だけではなく他の利用者にも生活の変化が見えることができました。また、職員もご家族様や利用者の方との日常会話の中で様々な情報を得ることができ、今まで以上にかかわりを持つことができた取り組みとなりました。		

第5部門 介護者家族と、地域との協働で実現する、その人らしい暮らし方
関西学院大学 G号館1階 IS106教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県	
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	5-1	地域密着型特養	宇川いちがお園	京都府	
		地域に密着するということ 今までの特養からの変化 ご利用者様、ご家族に加え、地域(じげ)の方との関係づくりが続いています。今までの特養との違いに迷い模索が始まり、ご利用者が本当に望んでいること、地域に密着することへの取り組みを発表します。			
12:25～12:50	5-2	特養(新型)	第三光が丘ハウス	福井県	
		「家で見ていきたい」～家族の思いから在宅復帰へ～ 「家で見ていきたい」という家族の思いと、本人の思い(言葉では表せないが、表情や雰囲気を感じられた)を叶える為に、在宅復帰に向けた取り組みと、その後の様子を報告します。			
12:50～13:15	5-3	地域密着型特養	笑寿苑	島根県	
		その人らしい生活を送ってもらうのは大変・・・でも嬉しい♡ A様は将棋が得意で、カラオケの趣味をお持ちです。毎日の晩酌を楽しみにしておられますが、糖尿病の持病があります。A様の希望で息子様宅へ花火を見に出かけました。暮らしの継続ができるように取り組んだことを発表します。			
13:15～13:40	5-4	居宅介護支援事業所	ひかりの園	熊本県	
		二人暮らしが良かった～妻が入所してから一人ぼっち～ 認知症を発症し、自宅での暮らしが困難となり施設へ入居されたN様。記憶がなくなっていく不安や慣れない施設での暮らし。入所させてしまった負い目とさみしさから妻が通ったデイサービスに立ち寄り夫。夫妻の暮らしを支える。			
13:40～14:05	5-5	地域密着型特養	クレール高森	和歌山県	
		「自立」と「自律」で元気になれた！～本人・家族と共に～ 老人保健施設で寝たきりの生活を送っていたN様が入院をきっかけに当施設へ入居。ご本人、ご家族の前向きな気持ちと自立(律)支援によりQOL向上、その人らしい暮らしを実現できた事例を報告します。			

第6部門 認知症の方とのコミュニケーションの工夫

関西学院大学 G号館2階 202教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県	
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	6-1	特養(新型)	万陽苑清風館	石川県	
		その人らしい生活をサポートする～笑顔の先にその人らしさがある～ できること、得意なこと、好きなことを生かしてその人らしく暮らしていただきたいの思いをもって取り組んできた内容を発表する。			
12:25～12:50	6-2	グループホーム 小規模多機能型居宅介護	高齢者グループホームいわきの里 小規模多機能施設間人あきばの里	京都府	
		親しき仲にも礼儀あり スピーチロックにつながらないコミュニケーションを職員が理解し、実践できるよう介護場面ごとの対応ポイントを記した事例集を作り、その実践の振り返りと、不適切な対応に気づくための研修会を行ってきました。			
12:50～13:15	6-3	特養(新型)	エバーグリーン	岐阜県	
		異食を防ぎ穏やかに眠る為に 認知症の進行により、夜間帯にパットを外し、ちぎって食べてしまうという行為をされる利用者について、ユニット職員でさまざまな仮説を立て、異食を防ぎ安心して睡眠を得るための取り組みを行った。			
13:15～13:40	6-4	病院	三豊市立西香川病院	香川県	
		私の時間～前頭側頭型認知症のA氏との関わりでみてきたもの～ 私たちはA氏をもっと「知りたい」と思い行動を観察していると同じ行動の中にもA氏なりの他者との関わりがみてきた。A氏を知りたいと思う事で変わっていった、私たちのケアとA氏の変化について報告する。			
13:40～14:05	6-5	特養(従来型)	おおみや苑	京都府	
		「その人らしい日常を」 認知症となっても安心できる生活をするには？穏やかな生活をどう創っていったらいいのか？ご利用者との関わり、同じ目線で、同じ空間を共にした中で感じたこと変わっていったことを発表します。			
14:05～14:20	休 憩				
14:20～14:45	6-6	グループホーム	フロイデグループホーム桂	茨城県	
		その人らしさの理解と苦勞 新規入所された女性利用者の理解、その苦勞について、現場職員からの目線、管理者からの目線、家族からの目線をまじえ、取り組みとして発表します。			
14:45～15:10	6-7	特養(従来型)	松楽苑	島根県	
		会話が出来た！～意思表示のできない方が自分を表現できるまで～ 介護拒否の強かったご利用者様がその人らしさを生活の中で豊かに表現できるようになった過程を報告します。			
15:10～15:35	6-8	病院	三豊市立西香川病院	香川県	
		あなたが教えてくれたもの 今年の春から利用となったA氏。早発性アルツハイマー病の診断を受けているA氏は、利用当初より自身の認知症について語られることが多かった。今回、A氏との関わりの中での気づきを報告する。			
15:35～16:00	6-9	特養(新型)	寿光荘	岩手県	
		振り回されるケア ～わさくさしてねえで、はえぐやらい！ 入居者さまと関わる日々の生活支援の中で、入居者さまからの希望・訴え・見守り。関係をどの様に工夫すべきか。思いと悩み。学び得た物。			
16:00～16:25	6-10	老健	ベルアルト	大阪府	
		不安が強く出る利用者が安心して施設で過ごして頂くために必要な事 BPSDがある利用者に対し、MDSでのアセスメント、本人・家族への聞き取りを行った事を元に、関わり方をユニットスタッフで統一したことによってBPSDが軽減した取り組み内容を報告する。			
16:25～16:40	休 憩				
16:40～17:05	6-11	特養(新型)	いしどりや荘	岩手県	
		「お家に帰りたい・・・」～自分の居場所をさがして～ 住み慣れた自宅へ帰ろうと施設の玄関をくぐり何度も出て行こうとしたK様には、どの様な生活空間をしつらえればやすらぎの場となるのか！？スタッフ皆で、試行錯誤しながらたどりついた居場所をご紹介します。			

第7部門 ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと

関西学院大学 G号館1階 101教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
12:00～12:25	7-1	特養(新型)	介護老人福祉施設サルビア	長野県
		寄り添い合った大切な時間 人の手を借りず生活を送っていたSさん。生活の中で転倒が続き、徐々に今までの生活が困難となっていきました。最後までその人らしく過ごせるよう、職員、家族が一丸となって関わる事ができた事例を発表します。		
12:25～12:50	7-2	地域密着型特養	くぬぎの木	三重県
		入居したその日から看取りは始まっています ～「動き出しは当事者から」を学び気づいたこと～ 「暮らしの場」として、その方らしさを尊重した支援を行うことを方針とし、終末期は特別なものではなく、日常の暮らしの延長線上に看取り支援があるということ。そして、大堀先生から学んだ自ら動き出すことの大事さに痛感し、その人らしさに向けた事例を発表します。		
12:50～13:15	7-3	住宅型有料老人ホーム	休屋	群馬県
		生きる ある利用者様の終末期に向かっていくなかで、「死にたい」から「生きたい」という心の変化。”最期の時”までのその方との過ごした思い出をお伝えします。		
13:15～13:40	7-4	特養(新型)	一本松荘	熊本県
		「最期まで自分らしく生きて逝く」～施設での看取りを考える～ 施設での看取りケアとは何か？今生きて逝こうとする方へ何が出来るか？利用者と家族に寄り添う看取りについて考えました。ご家族に今できることを伝え、一緒に考えた看取りケアの事例を発表します。		
13:40～14:05	7-5	特養(新型)	けま喜楽苑	兵庫県
		看取りハンドブック活用により、職員の資質向上に繋がった取り組み 人生の最期まで尊厳を守る支援を行う上で、本人、家族、職員が互いに信頼し、「想い」を繋げることが大切である。信頼関係を築くために、看取りハンドブックを作成した。その経緯から今後の展開について発表する。		
14:05～14:20	休 憩			
14:20～14:45	7-6	特養(新型)	鶴寿園	千葉県
		最愛の妻の死が迫る中、ご主人と共に悩み共に歩んだ看取りケア 最愛の妻の命について考えた時、延命を希望されたご主人。看取りとは何か、最善な方法とは何か、共に悩み歩んだ職員達。ご主人が妻の死を意識し、受け入れるまでの過程と苦悩、寄り添った職員達のケアについて。		
14:45～15:10	7-7	小規模多機能型居宅介護	小規模多機能ホームせいわながすの里	熊本県
		地域の中でターミナルケアに取り組んで 地域密着型サービスを行う中で当初は住民理解が得られず苦労した時期もありましたが、地域住民と一体となった夏祭りや独居老人との外出ツアー等、地域づくりを積極的に行う事で徐々に地域に溶け込んだ運営を行う事ができるようになりました。今回開設当初より利用頂いていたT氏のターミナルケアを行う中で、住み慣れた地域で最期まで過ごす事の大切さに気付いたため報告します。		
15:10～15:35	7-8	特養(新型)	清光園	北海道
		家族、チームケア、その人らしい最期を迎えるために 意思疎通が難しい入居者のその人らしい最期とは何か、どのように支援していくか、家族との関わりからみえた様々な思い、その人らしい最期を迎えるために家族と共に歩んだ133日間。		
15:35～16:00	7-9	特養(従来型)	ひかりの園	熊本県
		M様と過ごした1788日 動き出しを待つことで見えてきた本当の姿、ご入居されてから最期を迎えられるまでの1788日間。M様の動き出しが私達スタッフを1つにさせてくれた、ユニット職員とご家族の関わりと想いについて報告します。		
16:00～16:25	7-10	地域密着型特養	洛和ヴィラ天王山	京都府
		最期まで自分らしく生きたい～家族の想いと共に～ 長期にわたり、デイサービス、ショートステイを利用しながら在宅生活を続け、今年の5月に永眠されたA氏と、「どのサービスを利用しても、本人らしく元気で生活し最期を迎えさせてあげたい」という家族の想いを叶える為に施設として何が出来るかを考え、実践した。その取り組みと結果、今後の課題について発表します。		
16:25～16:40	休 憩			
16:40～17:05	7-11	特養(新型)	清光園	北海道
		看取りを選んだ家族と共に歩んだターミナルケア 最期を迎えるまでに家族が望む別れ、看取りとは何か？家族と関わり、共に歩んだ日々から感じた、家族の愛情溢れる想い。その想いを表現するために取り組んだケアの大切さと、最期を迎えた後に届いた家族からの感謝の手紙から気付かせて頂いたこと。		
17:05～17:30	7-12	短期入所生活介護	ひかりの園	熊本県
		「覚悟を決めたよ」家族の思い～自宅で最期を迎えるまで～ 「母は家が良いよね」と献身的に介護されていた娘。しかし、入院を余儀なくされ「家ではもう看れない」と娘の気持ちは意気消沈。在宅スタッフの関わりがご家族の心を動かす「覚悟できたよ。家で看ます」と決心されるまで。		

第8部門 職員同士のチームケアや多職種との連携

関西学院大学 G号館2階 201教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県	
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	8-1	特養(従来型)	にしのみや苑	兵庫県	
		ヒヤリハットの充実と事例報告 ～変化に気づき、記録を繋ぎ、事故を防ぐ～ ヒヤリハット報告について、ノート記入かパソコン記入かどちらの方が報告しやすいかを検証。ヒヤリハットを分析して事故防止に務めた事例の報告。			
12:25～12:50	8-2	特養(従来型)	福光園アネックス	岩手県	
		一步踏み出してみる。～厨房からユニットへ～ 今までの厨房職員は入居者様の食事を作り、厨房から外へ出る事が少なかった事実があり、なかなか入居者様の詳細を知る機会が無いまま食事を提供していました。施設全体で入居者様の生活を支える必要があると感じて、食事を作る以外の時間に入居者様のもとを尋ねて厨房から外へ一步踏み出してみた事から見えてきた事を発表させていただきます。			
12:50～13:15	8-3	特養(従来型)	博愛の園	大阪府	
		少しでも穏やかに過ごしてもらえる様に 2018年2月に入所された男性Aさん。穏やかに過ごされていたが、4月頃よりイライラするようになり、次第に暴言、暴力がみられてきた。少しでも穏やかに過ごしてもらえるようにチームとして取り組んだ事について。			
13:15～13:40	8-4	ヘルパーステーション	L-CUB八山田ヘルパーステーション	福島県	
		やる気スイッチはどこ？～寝たきりからの自立歩行に向けた取り組み～ 多機能型集合住宅であるL-CUBに入居され、その人らしい生活を多職種で考えるピットインケアの実践から通所介護におけるQOLを向上させ自信を取り戻すことができた事例を報告する。			
13:40～14:05	8-5	特養(新型)	第二丹後園	京都府	
		「食の守り人として」～ユニット内調理をして思うこと～ ユニット内調理を始めて、ご利用者の近くで調理することが、ご利用者の豊かな生活を支える事に気づき、さまざまな職種と連携をとることで、新しい食のケアのあり方に気づいた事を発表します。			
14:05～14:20	休 憩				
14:20～14:45	8-6	地域密着型特養	大宮フロイデドルフ	茨城県	
		J様の声が聴きたい～残存機能を生かす介護を目指して～ おしゃべりが好きで寂しがりなJ様が脳出血を患い意志疎通が困難に。不安な気持ちを強く感じているのではないかと。J様の気持ちに寄り添い、少しでも前の暮らしに戻れたら。職員が一丸となり取り組んだ内容を報告します。			
14:45～15:10	8-7	特養(新型)	大地の丘	愛知県	
		「その人らしさ」を見ることで入居者から教えてもらったこと 「動き出しは当事者から」に着目し、入居者それぞれに行った取り組み、また多職種と相談しながら「その人らしさ」を暮らしの中でどう継続していくかを視点に取り組んだ事例を発表します。			
15:10～15:35	8-8	特養(新型)	花みづき寮	群馬県	
		「帰るんだ」から「ここにいたい」へ 入所日、誰とも口をきかず何も食べない。夜は杖を振り回し抵抗するN様。「絶対変われる！変えよう！」その思いで取り組んだチームケアを発表します。			
15:35～16:00	8-9	地域密着型特養	大宮フロイデドルフ	茨城県	
		”あたりまえの壁”～そこにあるのに見えなかったもの～ 足が痛いMさんを、当たり前のように全介助していた職員。「動き出しは当事者から」を学び、Mさんの「できる」が見えてきた。本人の意思を見えなくしてしまう壁とは？職員の関わり方を見直した事例を発表します。			
16:00～16:25	8-10	特養(新型)	和里(にこり)	奈良県	
		アセスメントシートを活用し、「総合的な援助の方針」の個別化を図る 当施設では3か月に1度、多職種カンファレンスを行い、個別的なケアプランとして事細かな支援内容をケアプランに記載している。今回、プラン内容が生活者の意向や生活歴に沿った上で作成できているか、この機会にアセスメントシートを活用し、見直してみることにする。			
16:25～16:40	休 憩				
16:40～17:05	8-11	特養(新型)	松風	長野県	
		リビングでみんなと過ごしたい～関わりがもたらした日々の変化～ 寝ていることが多かった方が、自ら「外で過ごしたい」と思われるようになった事例。シーティングによりリビングで過ごせる時間が延び、馴染みの関係から得た気づきにより笑顔や意思表示の質に向上が見られたケース。			
17:05～17:30	8-12	特養(新型)	大地の丘	愛知県	
		「病院の方がいい」から「ここでいいわ」の気持ちに変わったO様 「病院の方がいいから、施設に戻りたくない」と言われた精神的に不安定で入退院を繰り返していた入居者。その方が施設で安心して暮らせるよう、多職種含めいろいろな関わりをした結果を報告する。			
17:30～17:55	8-13	特養(新型)	かがやき	富山県	
		新幹線の旅 入所時にご家族様に「暮らしの情報シート」を記入していただき、出生から現在までの生活歴や趣味を把握。入所後の生活を1ヶ月観察し、これらを基にケアプラン、関わりチェック表を作成。1、2分でも職員の手が空いた時に、個別の利用者ごとにご本人が望んでいる関わりを持たせていただいています。			

第8部門 職員同士のチームケアや多職種との連携

関西学院大学 G号館2階 202教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県	
		発表テーマ			
		発表の概要			
17:05～17:30	8-14	特養(従来型)	ぼー愛	兵庫県	
		目指せショータイム ～利用者様と関わる時間を作る為に～ 現在、ぼー愛ショートステイのフロアでは、日々の業務に追われ一日の時間がすぐに過ぎてしまいます。イレギュラーな事が起ると業務をまわす事もままならない現状です。そこで業務の見直しを行い、利用者様と関わる時間を作ります。ぼー愛のショートステイへ行くのが楽しみ！家に帰りたくないと言っただけのショートステイを目指します。			
17:30～17:55	8-15	特養(新型)	和里(にこり)	奈良県	
		アイスマッサージによる嚥下機能維持・向上にむけた取り組み 嚥下機能が低下した中重度の要介護高齢者の食事について。経口摂取維持や向上への取り組みを通して、生活者に負担なく最後まで口から食べる楽しさと、支援職の果たすべき役割を考えた。			

第9部門 施設の人材確保、職場の環境づくりについて

関西学院大学 G号館2階 IS208教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県
		発表テーマ		
		発表の概要		
14:20～14:45	9-1	地域密着型特養	いやさか苑	兵庫県
		「特別養護老人ホームの利用者の脆弱性と移乗介護に関する調査」 重度化、高齢化が増した特別養護老人ホームの入居者の移乗介護について脆弱性に焦点をあてた調査を行った。その内容について報告する。		
14:45～15:10	9-2	特養(新型)	花みづき寮	群馬県
		Welcome to our village! ～村をのぞいてみませんか?～ 当法人が新卒採用を本格的に始め約10年。安定した採用実績を持ち、過去5年間で平均10, 6人と多くの学生と出会い内定にこぎつけてきました。学生を惹きつける就職説明会と入職後のフォローアップについて発表します。		
15:10～15:35	9-3	特養・老健	スキルアップ・福祉の仲間づくり研修による研究グループ	兵庫県
		イライラしていませんか? ～マインドフルネスの実践を通じて～ 離職防止・スキルアップを目的に、神戸市内の介護施設で働く中堅職員を対象に、神戸市で研修を実施。職場改善を目的に、精神的なケアを効果的に行う「マインドフルネス瞑想」に着目した最優秀グループの実践、研究。		
15:35～16:00	9-4	特養(新型)	かすみの里	三重県
		働き方改革は現場から～職員の声に耳を傾ける～ 職員それぞれが仕事を楽しまたい、充実したいという想いがあり、それを叶えられるように自分の立場や役職を活かし行動してきた経過と実践内容、今後の予定を発表します。研修、会議、SNSの活用など・・・		
16:00～16:25	9-5	特養(新型)	松風	長野県
		多様な働き方の実現 働く条件や考え方は、一人一人異なる。その点を大切にしたい、職員の定着率向上や雇用の拡大を目指した取り組みの報告。		
16:25～16:40	休 憩			
16:40～17:05	9-6	特養(従来型)	あしや喜楽苑	兵庫県
		現場職員が参加するリクルーター活動を通して感じたこと 社会福祉法人きらくえんでは、職員採用活動として現場で働く職員の中から「リクルーター」を選出し、採用担当者とともに就職フェアに参加しています。リクルーター活動を通して感じたことなどを発表します。		
17:05～17:30	9-7	特養(新型)	和里(にこり)	奈良県
		ユニットリーダーへの支援体制づくりに向けた現状調査 ユニットリーダーの役割指導の悩みの原因を明らかにし、リーダーを支える教育支援体制を整備していくことが必要。ユニットリーダー自身の役割の認識と職員に対する悩みを把握することを目的とする。		

第10部門 スタッフの育成、工夫したこと、苦労したこと

関西学院大学 G館1階 IS108教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県	
		発表テーマ			
		発表の概要			
14:20～14:45	10-1	特養(新型)	神の園	京都府	
		勝手にアンコール！！実践発表から3年・・・「続・リーダー塾」 「明日リーダー8人が死んでしまったら」という実践発表から3年。今回は受けた側の発表ではあったが、今回は「リーダー塾を実施した側」の3年間と、単発ではなく、継続していくことの大切さやその成果についての実践発表。			
14:45～15:10	10-2	特養(新型)	ぬく森	愛知県	
		3年目の壁と求められるもの 何を目標に働けばいいかわからなくなった。周りの評価以上に自分に自身がなくなった。意気込みとともに向かえた3年目がスタートするも、悩む日々が続いていた。そんな時、私たちが取り組んだ事を発表させていただきます。			
15:10～15:35	10-3	特定施設入居者生活介護	ひびき。	福岡県	
		続パート研修！！～動き出した歯車～ 正職員とパート職員の隔たりをなくし共に支え合った1年目を終え、2年目に突入。1年間研修で学んだ成果を現場で活かす段階に入った。それぞれの職員が個人で目標を定め、施設理念のもとに「動き出しは当事者から」の視点で利用者と関わりながら取り組みを重ね、職員一人一人の思いが1つになりバラバラだった歯車が噛み合い動き始めた。パート職員自らが考え悩み実践した経緯と成果を発表する。			
15:35～16:00	10-4	特養(新型)	ナーシングケア加納	岐阜県	
		「あぶないな、ふとした気づきが事故を防ぐ」 危険予知トレーニング(KYT)の強化実践 今回、当施設で過去に発生した事例を用いて、KYTを実践した。それにより事故を未然に防ぐあるいは再発防止の効果を報告する。			
16:00～16:25	10-5	特養(新型)	かすみの里	三重県	
		職場スタッフと関係の構築 リーダーになって2年が経とうとします。その2年の中で苦労したこと、苦労した中で気付けたこと。スタッフとの関係を築きあげる為に実践したことを発表したいと思います。			
16:25～16:40	休 憩				
16:40～17:05	10-6	特養(従来型)	真狩羊蹄園	北海道	
		羊蹄山ろくケアライセンス 取り組みを振り返って 新人職員の3つの困ったから始まった羊蹄山ろくケアライセンス。ケアライセンスとは？真狩羊蹄園の導入からライセンス取得までの取り組みについて発表させていただきます。			
17:05～17:30	10-7	特養(新型)	グランデパール	岡山県	
		「生活支援技術」向上に向けての取り組み 生活支援技術の向上を図るため、平成30年度から委員会を立ち上げた。施設内研修において生活支援技術の基礎を再確認し、指導力の強化を図るための取り組みを行った。今回、その一連の過程について報告する。			

第11部門 現場発信！施設からの実践提案(NEW)

関西学院大学 G号館1階 IS108教室

時 間	部門 No.	種別	施設名	都道府県	
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	11-1	老健	中部台ケアセンター	岐阜県	
		テーマ1/その人らしいケアプラン 私たちの職場ではケアプランの内容に#1として利用者様がしたい事を担当職員が考えチームで実行しています。その例をいくつか紹介します。			
12:25～12:50	11-2	介護老人福祉施設	愛しや	兵庫県	
		テーマ2/「真剣・介護！ 討論場 ～私の職場の働き方改革&悩み・苦労もぶつけなさいよSP」 私たちの職場の働き方改革&悩み・苦労の話を発表します。			
12:50～13:15	11-3	特養(新型)	美里ヒルズ	三重県	
		テーマ3/花2みんなのお伊勢参り～みんなの想いをカタチに～ 「また、お伊勢さんに行きたい」その入居者の想いを叶えたい。職員の想いが、他の入居者や職員、家族の想いと一つになって、みんなの想いがカタチになりました。総勢25名のお伊勢参りから私たちが得たものは・・・。			
13:15～13:40	11-4	特養(新型)	美里ヒルズ	三重県	
		テーマ3/笑った！！怒った！！泣いた！！夫婦で紡いだ920日 夫婦でお互いの終末期について向き合われている姿を見て、どう関わって行こうかと感じた事。ご家族を巻き込み、残されたお二人の時間を良いものになるようにサポートした。入居されたから看取りまでのストーリーを紹介します。			

今回新しくなったこの部門では企画テーマに合わせて募集した実践発表の報告のあと、参加者のみなさまとの意見交換や交流等を行います。

★テーマ1:みんなで考えましょう！みんなで共有しましょう！「自立支援介護」とは何か、現場での取り組みを発表します！

【企画施設/地域密着型特養 クレール高森(和歌山県)】

★テーマ2:「真剣・介護！ 討論場 ～私の職場の働き方改革&悩み・苦労もぶつけなさいよSP」 私たちの職場の働き方改革&悩み・苦労の話を発表します！

【企画施設/高齢者総合福祉施設 愛しや(兵庫県)】

★テーマ3:～おおらかに～ 伝えたい！ 聞いてみたい！ つながりたい！ ユニットケアの可能性 実感事例を発表します！

【企画施設/地域密着型特養 結いの郷(愛知県)】